

小・中・高と指導者の方を始め、親やチームメイトなどたくさんの方々に支えられ、幼少期から卓球競技に打ち込んできました。高校2年生の冬、進路選択の際には卓球を始めた頃から憧れていた専修大学への進学を決意し、今までの競技での経験や学びを活かし、スポーツ推薦方式で受験することを決めました。

三年生の夏、8月に行われたインターハイが終わった後から入試に向けて対策を始めました。選考方法は、課題作文と面接でした。課題作文は、過去に出題されたテーマについて何度も書き、国語の先生に添削していただいたり、卓球部の監督である中島先生に見ていただいたりして、自分の考えを深めていきました。面接練習では、最初入室の仕方も分からず、受け答えもうまくできませんでした。ですが、自分から先生に練習をお願いしに行きました。進徳の先生方はご多忙の中でも、何度も私の面接練習をしてくださいました。

入試当日は、課題作文も面接も練習の成果を発揮することができ、結果、合格することができました。私が大学を受験するにあたって、出願や対策、そして合格にご尽力くださった、クラブ顧問の先生、担任の先生をはじめ、たくさんの先生方に感謝しています。